

アドバイザーからひとこと



宇都宮大学地域デザイン科学部
建築都市デザイン学科・建築再生・安全研究室
助教 大嶽 陽徳

令和5年度に第三次WGが始動して、東町のまちづくりが新たな段階に入りつつあるように感じています。東町は、日光の社寺の門前町としての商いと惣山組織としての祭りを中心に、独自の生業や暮らしによって形成されてきた歴史あるまちです。

第三次WGの活動は、この歴史あるまちを、10年後、20年後も魅力ある姿にするために重要な意義をもっており、期待を寄せているのと同時に、地域の知の拠点である大学としてしっかり支えていきたいと思ひます。



宇都宮大学地域デザイン科学部
建築都市デザイン学科・建築計画研究室
講師 遠藤 康一

日光東町のまちづくりは新しいフェーズに入り、まちの使い方を考える社会実験部会、道路整備が進むエリアを含むまちの将来を見据えた情報交換部会、伝統や営みの顕れるまちの姿を残すアーカイブ部会と、WGメンバーの皆さんを中心に活動が活発化してきました。

これらは、培われてきたまちの形質を共有し引き継いでいくためのとても重要な活動です。ここにしかない、日光東町ならではのまちづくりの方法が少しずつ見えてきているようです。

あなたの古い写真・古い資料、捨てないで！

ワーキンググループ アーカイブ部会では、引き続き古写真や古資料を募集中です！

- 例えば…
- ・古い街並みや風景の写る写真
 - ・各お店の店頭写真
 - ・路面電車等が写る風景写真
 - ・お祭り等で撮影した写真
 - ・その他、資料・史料等

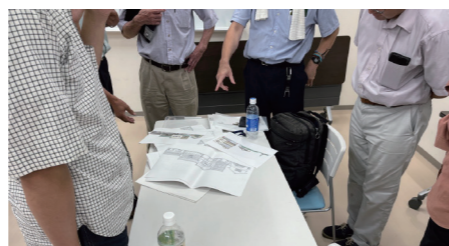
場所や撮影された年代が不明のものでも結構です。お借りしました古写真等は、デジタル化（撮影・スキャン）の上、返却いたします。データは、部会やワーキンググループにおいて責任を持って管理をいたします。街路整備や店舗の入れ替わり等で街並み・風景も急激に大きく変わってきています。

これまでの風景を記録し、後世に残すために、ご協力をお願いいたします。

古写真・古資料に関する窓口

日光東町ワーキンググループ アーカイブ部会

連絡先：吉新信男（アーカイブ部会会長 / 松原町） 電話54-0674（旭屋）



一緒に“まちづくり”を楽しみませんか！

ワーキンググループでは、参加メンバーを随時募集しております。

各プロジェクトの部分的なご参加も大歓迎です！下記の問い合わせ先、または各町内のワーキンググループメンバーまでご連絡ください。

また、まちづくりへのご支援・ご協力もお待ちしております。個人、事業所や店舗単位でも、是非ともご参加・ご支援をよろしくお願いいたします。（※ご支援・ご協力につきましては、NPO 法人日光門前まちづくりまでお問い合わせください。）

お問い合わせ

発行者：日光東町まちづくり推進委員会

事務局：日光市役所建設部都市計画課

都市計画係 担当：青木・関

電話：21-5102 FAX：21-5176

ご支援・ご協力のお問い合わせ・窓口

NPO 法人日光門前まちづくり

日光市石屋町 418-1

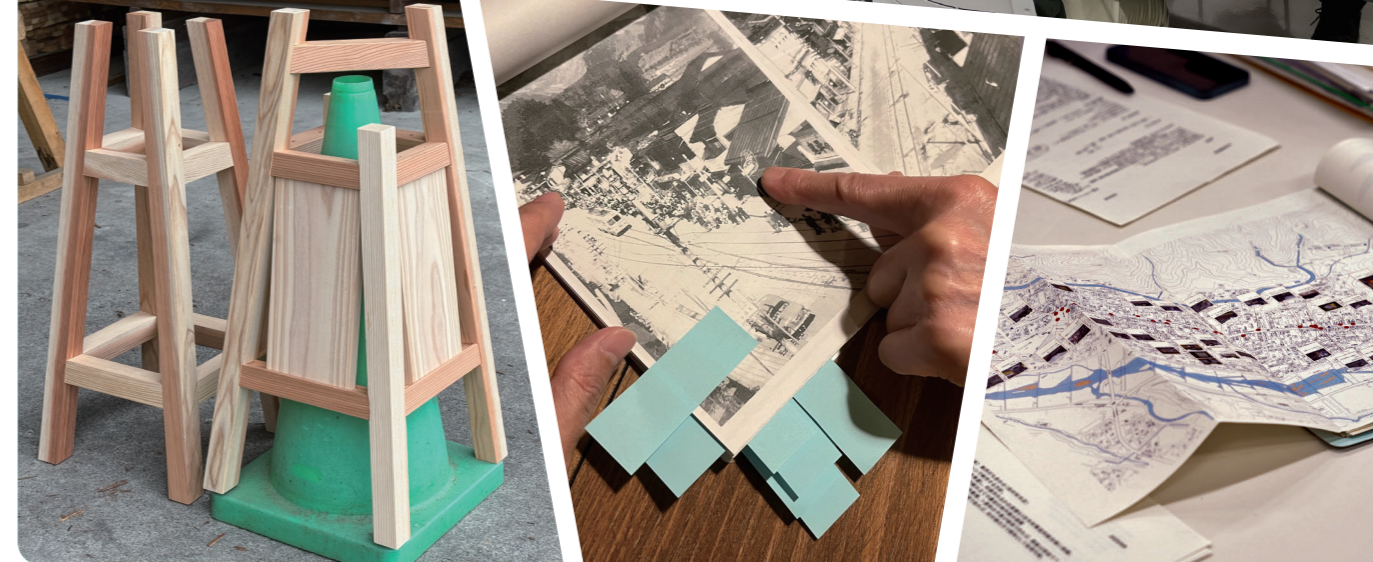
nikkomonzen@gmail.com

東町かわら版

第25号

令和7年3月28日

発行：日光東町まちづくり推進委員会



日光東町ワーキンググループ活動報告特別編

第三次 WG 始動— 3 部会体制で進める日光東町の実践的まちづくり

日光東町のまちづくりは、「日光東町まちづくり規範」に基づき、「祭り（いのり）のまち」をテーマに進められていますが、このテーマを具現化し、住民主体で実際にまちづくりの取り組みを行う組織が「日光東町ワーキンググループ（WG）」です。

上部団体の東町 11 か町の自治会長で構成される「日光東町まちづくり推進委員会」から推薦された各町の代表者、NPO 法人日光門前まちづくりの代表者 16 名（令和 7 年 5 月 1 日現在）のメンバーで活動しています。

WG は、過去、まちづくり規範の策定（第一次）、同規範の深化版の策定（第二次）に取り組みましたが、令和 5 年度からは第三次 WG として新たなメンバーで再発足。具体的な活動としては、WG 内に 3 つの部会

- ・アーカイブ部会（古写真・古資料などまちの記録や記憶の保存、活用）
- ・情報交換・交流部会（整備事業やまちづくりに関わる住民同士の情報交換）
- ・社会実験部会（景観づくり、修景、セットバック部分を含めた「まちの使い方」の検討）

を設け、各部会長の下、まちづくりに関する課題の洗い出し、解決に向けた取り組みを始めています。



座長 小池秀明



アーカイブ部会

古写真・古資料などまちの記録や記憶の保存、活用

部会長 吉新信男



提供：水車物産店様、撮影年不詳

これまでの古写真などのアーカイブ資料収集活動では、十数名の方からのご協力をいただき、絵葉書等も含めて約 100 枚程度集まりました。どの写真もこれまで目にしたことがない風景が広がっており、大変ありがたく思っております。弥生祭等のお祭りのもの、市電が走っている風景、そして時代的には戦後のものが多い印象です。

一方で、「街並み」「風景」に焦点を当てて撮られたものは少なく、アーカイブ収集の課題が残りました。

今後は、ご提供いただいたこれらの写真でパネル展等を開催するなど、活かす活動も行っていきたいと思っております。

また、前述の通り風景を記録しておく必要性も強く感じましたので、今の街並みを記録する活動も並行して行いたいと思っております。

古写真等は引き続き募集しております。「この写真は古い」「資料や参考になりそう」と思えるものはもちろん、特に明治・大正、昭和初期など戦前の写真と思われるものなどは大歓迎です。そのほか、古い地図や資料（史料）等もございましたら、ご提供いただけましたら幸いです。

今後、鉢石地区の街路整備事業が進みます。その際に整理や処分されてしまう前に、是非、捨てずにご提供いただけますようお願いいたします。

情報交換・交流部会

整備事業やまちづくりに関わる住民同士の情報交換

共同部会長 竹内康晃、吉田和宏



まちなみ懇談会の様子

東町の街並み整備事業もいよいよ最終段階、下鉢石町地区の歩道整備が始まり、中鉢石町・上鉢石町地区でも事業の調査が始まりました。

私たちが当事者ですが、特にこれから事業が入る区間、中鉢石町・上鉢石町の住民の皆さんからは、まず「何をしようか分からない」という声をお聞きます。そこで、情報交換・交流部会では、このような住民の皆さんの声にお応えできるような取り組みを行っていかねばと考えております。

まず、今年の 1 月 30 日には、中鉢石町・上鉢石町の住民の皆様にお声がけをさせて頂き、第 1 回目の「まちなみ懇談会」を日光公民館で試行的に実施し、これまでの参考事例や東町まちづくり規範を学びながら、意見交換を行いました。今年度以降は、懇談会で出された意見を参考に、どのような設えで開催するかを検討しつつ、第 2 回目の開催を目指してまいります。

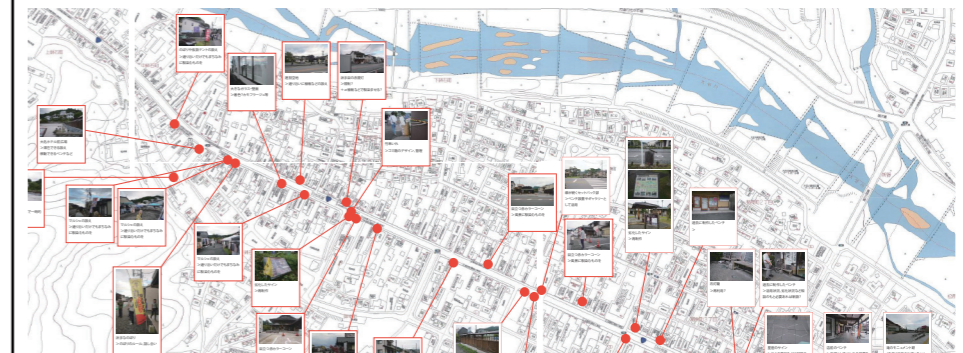
また、宇都宮大学さんにもご協力をいただき、学生さんなど第三者を交えての交流、意見交換会なども検討してまいります。

地域住民の皆さんと率直な意見交換、交流を行っていきながら、東町のまちづくりをより良いものにしていきたいと考えて居りますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

社会実験部会

景観づくり、修景、セットバック部分を含めた「まちの使い方」の検討

部会長 高橋広野



日光東町の美しい街並みを未来につなげるため、市民・行政・大学が連携し、まちのあり方を共に考える「社会実験」に取り組んでいます。

社会実験とは、実際の場所で小さな試みを行い、その効果や反応を検証しながら、より良い解決策を探る取り組みです。この活動の目的は「修景（しゅうけい）」です。修景とは、建物や道路、看板などを周囲と調和するよう整え、まちの景観を美しく、心地よくしていくこと。歴史的建造物や自然に恵まれた東町に、調和と連続のある街並みを少しずつ整えていくことを目指しています。

令和 6 年度からは通り沿いの課題を調査し、東町の景観に合うデザインのカラーコーン制作に取り組んでいます。日光木材業協同組合様の協力で、地元産木材を使った行灯風のカバーを制作中。これから店舗前や駐車場、工事現場などに実験的に設置し、改良を重ねて歩いて楽しい景観づくりを目指します。

今後も日光の景観を大切にしながら、日光らしい景観づくりを皆さんと共に考え、試し、育てていきたいと思っております。